

1、ほうりんこころ幼稚園

【広島市安佐南区伴南1丁目5-6】

2、平成31年度の活動概要

(1) 環境に関すること

ぼうけんの森の斜面…長年子どもたちが上ったり、滑り降りたりしていたことや、大雨が続いたことで、地崩れの可能性が考えられた。そのため、数年は斜面を上り下り遊びは控えることにした。広場や自然物を使っての遊びを充実させるためにはどうすればよいのかを考えた一年だった。こころの庭の斜面…木の枝などの手入れを行い、子どもたちが遊べる環境に整えた。虫や木々の実、花びらを集めたり、ハーブに触れるなど自然遊びの広がりを見せた。

(2) 遊びの事例や、子どもの育ちに関すること

<身近な自然を活かして>

◆いろいろな葉っぱ みつけた (年少)

ぼうけんの森では、葉っぱの形や色の違いから、さまざまな種類の植物があることに気づき、様々な形の葉っぱ集めを楽しみました。集めた葉っぱは種類や大きさ別に集め、見立て遊びをして楽しむなど保育に取り入れました。



◆竹であそぼう (年長)

ぼうけんの森の竹に興味を持った子どもたち。長い竹をクラスのみんなで力を合わせて運びました。竹の特性である節をつかって水鉄砲をつくったり、笛や、竹太鼓などの楽器をつくったり、子どもたちの遊びと興味はどんどん広がっていきました。



◆葉っぱのたたき染め（年長）

葉っぱで遊んでいると、色が出やすい葉っぱと出にくい葉っぱがあることに気づきました。「どうやったらきれいな色が出るんだろう？」「どの葉っぱが色が出やすいんだろう？」「この葉っぱのにおいはいいにおいだったよ」「やわらかい葉っぱの方が色が出やすいよ」きれいな色を出すために、試行錯誤の日々が始まりました。葉っぱをもんだり、たたいたり、すりつぶしてみたり…。色を出したい子、形を写したい子、子どもたちの興味関心は様々です。様々な葉っぱのたたき染めを楽しんだあと、このたたき染めをした小さな布の端切れは、大きなクラスの旗へとなくなりました。



<雨の日の保育>

◆にじみ絵（年中）

あらかじめ、絵の具やマーカーで画用紙に書いた絵を雨にさらします。思いもよらない形に曲がったり、にじんだり、色が混ざり合って不思議な色合いになったりします。乾かした画用紙がふやふやとゆがむのも楽しんでいます。レインコートを着てお散歩することで、コートに当たる雨の感触を楽しんだり、雨の音に耳をすませたりしながら、雨の日も楽しく過ごしています。



◆染め紙（年少）

雨の日の朝、プリンカップを戸外に置いておき、お昼までにどのくらい雨が降るのかためてみました。プリンカップにたまった雨を見て、「こんなに降ったんだね」と大喜びの子どもたち。みんなの雨をひとつのペットボトルに集めて、絵の具を溶いて染め紙をしました。きれいに染まった和紙は、「あさがお」になって保育室を彩りました。



(3) その他、自然体験活動の実施にあたって工夫したこと

<自然保育研修の開催>

- 日時● 令和元年5月15日
- 会場● ほうりんこころ幼稚園
- 講師● 菊間 馨 先生（自然保育アドバイザー）

子どもたちといっしょにぼうけんの森に入っただき、葉っぱの特性や危険な生き物（マムシ）を教えてくださいながら、自然遊びについて教えてくださいました。保育後は職員に対して園内研修を教えてください、森で過ごすことの利点や注意点、子どもの育ちについて学びました。



～マムシは危険！～
菊間先生にマムシを見せていただきました。
マムシには2本の針のような牙があり、その牙に毒があることを教えてくださいました。子どもたちは興味深々です。



～葉っぱ笛～
菊間先生にかかると葉っぱも笛に大変身！「どうやってやったの？」と子どもたちの目は輝きました。葉っぱの持ち方や息の当て方を教えてくださいいただき早速挑戦しました。

～文字が書ける不思議な葉っぱ～
ソヨゴの葉には文字が書けることを教えてくださいいただき、子どもたちは大感激！早速文字を書いてみました。「森でお手紙が書けるね」と真剣な表情です。



～ウラジロで
バッタのおもちゃ～

ウラジロでは、バッタのように跳ねるおもちゃを教えてくださいました。簡単にできるおもちゃに子どもたちも大喜び。

